

Panasonic

建築と設備のエコソリューション情報誌

# 建築設計

REPORT  
ARCHITECTURAL DESIGN REPORT  
vol.19 2016・11

特集 地域の公益性とユニバーサルデザイン





## CONTENTS

## 特集：地域の公益性とユニバーサルデザイン

## SPECIAL INTERVIEW

赤池 学 氏 ..... 1

## SPECIAL EDITION

桜美林ガーデンヒルズ ..... 5

只越復興住宅 ..... 9

シェリア湘南辻堂 ..... 11

アーデントクレイル山の田本町 ..... 13

ザ・ロイヤル小町 ..... 15

LA・CREA京都御苑北 ..... 17

## TOPICS

成田空港第2旅客ターミナル ..... 19

## HOUSING IS CULTURE

旧青木家那須別邸 ..... 21

\*本誌では略称を用いています。また、一部敬称は略させていただきます。

表紙写真：桜美林ガーデンヒルズ

# 赤池 学

Akaike Manabu

[ユニバーサルデザイン総合研究所 所長  
一般社団法人CSV開発機構 理事長]

地域の公益と事業益を両立させる  
ユニバーサルデザイン

## 自然界に学ぶデザインを

— 当初は生物学を専攻されていたと伺っています。

僕は東京大田区大森の生まれ。町工場が集積した地域で、小さな工場の職人たちからものづくりを教わり、育ちました。このため、ものづくりが大好きです。大学受験の頃は「21世紀はバイオの時代だ」という潮流があり、大学と最初の大学院までは生物学を専攻しました。昆虫発生学の形態形成分野の研究をしていましたが、大学院時代に登場したDNAの記号論に疑問を抱くようになりました。卵から発生する幼虫や変態などを観察しており、本来ものづくりが好きだったこともあって、生物のデザインを人工物の設計やものづくりにつなげる仕事ができないかと考え、大学院で生物学から転学。デザインや美学、工学設計を学び、それが商品開発や施設・地域開発を手がける、インダストリアル・デザイナーという現在の仕事に結びついています。

\*撮影場所：パナソニック リビング ショウルーム 東京

## バリアフリーから ユニバーサルデザインへ

— ユニバーサルデザインの重要性に気づかれたのはいつですか。1998年に名古屋デザイン博が開催され、そのシンポジウムでプロダクト・デザイナーのパトリシア・ムーアさんが講演されました。彼女は20代に老婆に変装して米国やカナダを3年間旅行し、高齢者の課題を抽出する実験を試み、バリアフリーデザインを提唱された方です。学びを請いに楽屋に相談に行ったところ、バリアフリーデザインを進化させたユニバーサルデザインを学ぶべきだと、ノースカロライナ州立大学の建築家「ユニバーサルデザインの父」と呼ばれるロナルド・メイス先生を紹介されました。そこで、日本での科学ジャーナリストの仕事を調整して時間をつくりながら、ノースカロライナ大学に通ってユニバーサルデザインの手法論を学んだのです。

そして1996年に現在のユニバーサルデザイン総合研究所を立ち上げました。僕にとってユニバーサルデザインの生みの親はメイス先生ですが、育ての親はパナソニックや自動車メーカーなのです。研究所を設立した頃、パナソニックもユニバーサルデザインに対して高い問題意識を持たれています。グループ内のデザインを戦略化しようとされていた時期で、家電製品におけるユニバーサルデザインの具体的な手法論や戦略を立て、そのパイロットモデルとしての斜めドラム式洗濯機の開発プロジェクトにもメンバーとして加わりました。

## "Design for all"の "all"とは誰か

— 先生にとってのデザインとは何でしょうか。現在もさまざまな大学で、学生たちには「デザインというのは、構想と構築と構成だ」と教えています。新しい何か、これまでになかった価値あるもの、ユニークなこと、それを構想していくことがデザインの始発駅です。それを次の段階で構造やコストの制約を含めて構築し、最後に高い意匠レベルで構成をかける…これがデザインの基本だと思います。ですから、デザインにとって一番大切なのは、最初の構想力なのです。

その時に僕が重要視しているのは、ロナルド・メイス先生に教わった「ユニバーサルデザインを形にする時に一番大切なのは、デザイン・フォー・オール」というコンセプトです。みんなのためのデザイン。メイス先生が強く訴えたのは、「このオールをどのレベルでとらえるかによって、ユニバーサルデザインの社会的な意義が異なってくる」という点です。よく一般的に理解されるユニバーサルデザインとは、障害を持たれた方をはじめ高齢者や子どもたちも含めた皆が使いやすいものづくりや暮らしやすいまちづくりと考えられていますが、そこでのオールは、あくまでも多様なユーザーです。メイス先生が伝えたかったのは、ユーザーを超えた、それ以外のステークホルダーや社会までをも含めてオールと捉えるべきということ。ユーザーの範囲を超えて社会的な価値を創れと訴えられていたと思うのです。

## 公益と事業益がなければ 生き延びることはできない

— 社会的な価値がより求められるということですか。

最近取り組んでいるのはCSV(Creating Shared Value =共有価値)の創造です。2011年にマイケル・ポッター教授が、これからの企業はこのCSVという公益と事業益を両立させる投資活動なしには持続できないという提言をされました。これはメイス先生が言うデザイン・フォー・オールの考え方と極めて似通った概念です。企業活動はビジネスなので事業益を形にしなければいけませんが、それだけではなく、ビジネスそのものをより公益性の高いものにする必要があるのです。このため、2014年に一般社団法人CSV開発機構を設立しました。現在、異業種企業が36社参加されていますが、各企業が中核となる強みを強化しつつ、事業益を確保しながら、高い公益性を持つビジネスを構築するという課題にともに取り組んでいます。

CSVには3つの手法論があります。

1つは商品開発におけるCSVです。環境性能の極めて高い住宅や、ハイブリッドカーなど、商品そのものに高い環境貢献性を持たせる、そのような商品や関連技術を開発することです。

2つ目はバリューチェーンのCSV。例えば食品会社のケースなら、原材料を海外調達している場合は生産者を医療や教育面から支援して生活の質を向上させ、良質な原材料を安定的に持続可能に確保する。これにより、実際の商品のサステナビリティを上げていく。そうすれば、生産者を支援することがすなわち、自社のビジネスのバリューチェーンを強化することにつながります。これは間違いなく事業益の確保にもつながってきます。

3つ目は、競争基盤のCSVです。企業にとってもっと重要な競争基盤は社員の皆さんです。例えば社内のエンジニアやデザイナーをそれぞれの事業所がある周辺の学校に派遣し、出前事業などを行って地域とつないでいく。それにより従業員のモチベーションも高くなりまし、次世代を担う子供たちをものづくり教育で育成することができます。このような社会性の高いCSV事業を進めるべきなのです。



## 国産材の活用による 林業自治体の再生

— CSVについてもう少し詳しくお聞かせください。

商品開発のCSVによって、高効率な設備やHEMSなどの技術でネット・ゼロ・エネルギー住宅が実現されていますが、それは環境貢献性の高い住宅です。その際に、積極的に国産材や地域材を使うべきなのです。パナソニックは天然木を熱処理で着色するウッドアートテクノロジーを開発し、床材などに商品化されています。現在は、ゼネコンが木造非住宅や木質マンションの施工技術の研究開発を進め、躯体もCLT\*を用いたり、鉄骨と木材をシステムモジュール化する技術も進んでいます。また、スマートハウスはプラスウェルネスの時代を迎える、住まい手にとって身体や心の健康性も向上する住宅の内装材として、調湿性が高く感染症の罹患率を抑える木材が見直されています。これら木材を利用した製品の販売が伸びれば、国内林業に関わるステークホルダーや林業地域を間違いなく潤していきます。

林業自治体に持続可能な雇用を創ることは、大きな公益性があると思っています。ですから、林野庁の事業も、さまざまな審議会・検討会の委員という立場でアドバイスをしてきました。これまで、大規模な木工団地やスーパー林道が整備されてきました。もちろんそれは意義のあることですが、国産材を使わせるためには、商流の末端にインセンティブをつけて、さまざまな企業が国産材を使う流れをデザインすべきなのです。この目的に沿って、木材活用の先導的な実践を検証するウッドデザイン賞が昨年から設けされました。昨年のウッドデザイン賞グランプリを受賞した岡山県の西粟倉村は、大手マンションデベロッパーと連携されています。また、生活用品メーカーやオフィス什器メーカーとの協業で地元材を用いた製品開発をされています。すると、民間企業の商流を通じてその自治体の木製品や建材が売れるのです。林業地域にしてみると、プロのビジネスモデルやデザイン力を習得できるわけです。このように、民間のCSV戦略を産地に紐づけながら、共栄関係を築いていくのが、これからのお業におけるユニバーサルデザインビジネスだと思っています。

赤池 学氏

1958年東京都生まれ。1981年筑波大学生物学類卒業。社会システムデザインを行うシンクタンクを経営し、ソーシャルイノベーションを促す、環境・福祉対応の商品・施設・地域開発を手がける。「生命地域主義」「千年持続学」「自然に学ぶものづくり」を提唱し、地域の資源、技術、人材を活用した数多くのものづくりプロジェクトにも参画。科学技術ジャーナリストとして、製造業技術、科学哲学分野を中心とした執筆、評論、講演活動にも取り組み、2011年より社団法人環境共創イニシアチブの代表理事も務める。グッドデザイン賞金賞、JAPAN SHOP SYSTEM AWARD最優秀賞、KU/KAN賞2011など、産業デザインの分野で数々顕彰を受けている。

経済産業省、総務省、国土交通省、内閣府の各種調査会・研究会の座長や委員などを歴任、長年国のエネルギー政策づくりに深く関わる。

## 環境性能が高く 「感性価値」も高い住宅

— 日本のものづくりに求められているのは何でしょうか。

日本のものづくりは、これまでハードウェアという技術とそれを展開するソフトウェアが中心でした。しかし、機能と品質だけでは国際競争力がなく、新興国との消耗戦になってしまいます。そこで、心と五感を触発する価値がこれからものづくりには重要だと提起したのが「センスウェア」という考え方です。これを経産省が「感性価値」と名付けてくれました。これは「公益品質(ソーシャルウェア)」にもつながるもののです。例えば住宅であれば、すばらしい省エネ技術や建材の「技術」、自然光や風を取り入れ、緑豊かな庭など「自然」の恩恵を享受する。それを「デザイン」によって多様な楽しさや暮らし方など、ユーザビリティに広げていく、これら3つの要素を掛けあわせることで、これからのお住まいのあるべき姿が探れると思っています。

具体的には南側に庭を配置して、その面を大開口とする。そこにアイランド型キッチンを置いて、リビングは、ユニバーサルで多目的利用が可能なスタジオのようなスペースにする。そうすれば、親子や仲間がそこに集い、南側の庭を見ながら皆で楽しく料理したりパーティーができるわけです。多くのハウスメーカーのユーザー嗜好調査をお手伝いしていますが、庭を眺めながらパーティーができるキッチンや、庭が望める浴室は、高い関心を集めています。

## 事業性と公益性が両立した 持続するまちづくり

— 感性価値の高いまちとはどのようなものでしょうか。

日本でのまちづくりは、いまだに中央に大規模商業施設を集積して、全国同じような街区が形成されているのですが、米国では伝統回帰的なコンパクトなまちづくり、ニューアーバニズムの考え方沿った都市計画が多く見られます。そこでは、再開発のオフィスビルを建てた時でも企業のオフィスだけではなく、アンテナショップや住居、地元大学のドミトリなど、さまざまな機能を混合して組み込んでいます。それによって賑わいをあらかじめ創出できるように計画しているのです。一般住宅も1階を小さなショップにするなど、生活を楽しんでいます。日本でも、リブワークスタジオのように使えるようなハウジングモデルを考えれば、もっと楽しいまちになると思います。まちづくりにも、事業性と公益性をいかに両立させるかというCSV戦略が入ってくると、公園が望める場所は感性価値が高いので、それにあった分譲価格が設定できたり、まちの資産価値を高めるために公園や街路を整備しようという考えになるでしょう。そうなれば、人が集う場所にはチャーミングなカフェやレストランも建ち、好循環します。このようなCSV的な発想で都市開発も進んでいくべきと思っています。

— ありがとうございました。





**木と鉄の複合梁＜テクノビーム＞が実現した  
大規模木造建築によるCCRC**

高齢者が健康な時から入居し、介護が必要になっても継続的に介護を受けて生活できる高齢者コミュニティ「CCRC」(Continuing Care Retirement Communities)が米国で普及している。日本でも「日本版CCRC構想有識者会議」により、東京圏をはじめとする高齢者が、自らの希望で地方に移り住み、健康でアクティブな生活を送りながら医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができる地域づくりをめざしている。今回の桜美林ガーデンヒルズは、大学のキャンパス内に立地し、大学と連携して運営される「カレッジリンク型CCRC」。生涯学習や学生との交流により、第二の人生を享受できるように計画されている。桜美林大学が出資する株式会社ナルドが事業主体となり、約7,300m<sup>2</sup>の敷地に高齢者住宅、学生寮、ファミリー住宅、介護サービス事業所や学生と住民の交流スペース、コミュニティレストランなどを幅員6mの通路を介して配置。子供から学生、高齢者まで幅広い年齢層の人々が集い暮らす。

桜美林ガーデンヒルズのサービス付き高齢者住宅(60戸)2棟と、学生寮、一般住戸(40戸)各棟の延床面積は約1,000m<sup>2</sup>。高齢者が関わる施設でもあるため、温かさを感じられる木造が求められたが、大規模建築で、食堂や集会室などの大空間が実現できるかが課題だった。そこで採用されたのがパナソニックの「テクノストラクチャー」。これは木と鉄の複合梁＜テクノビーム＞を用いる工法で、木の梁に比べてたわみが極めて少なく、「大スパン高天井」をコストパフォーマンスと施工性に優れた木造で実現できる。このため、近年では戸建だけでなく、集合住宅や非住宅での採用も増加している。

また、「テクノストラクチャー」ではすべての建物に構造計算を義務づけており、その許容応力度計算によって、実大実験で震度7相当の揺れを5回与えた結果、主要構造体に損傷・変形がなく、実証震度7の大震災にも耐えることが確認されている。

△ 木と鉄の複合材＜テクノビーム＞が用いられた学生寮(B棟)



桜美林ガーデンヒルズ

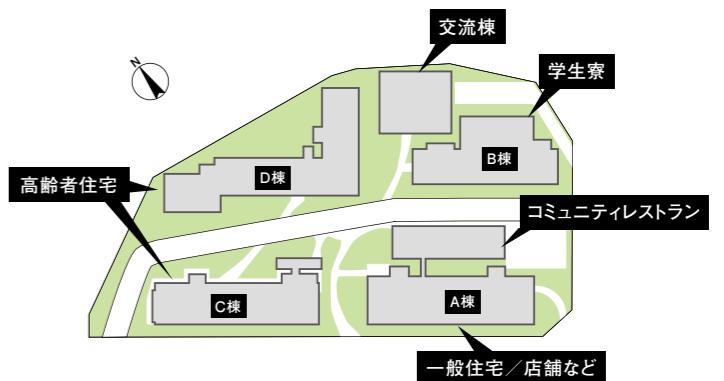
所 在 地 / 東京都町田市小山ヶ岡  
事 業 主 / 株式会社ナルド  
設 計 / 株式会社プラスニューオフィス一級建築士事務所  
施 工 / 谷津建設株式会社  
竣 工 / 2017年2月(予定)  
構 造 形 式 / 木造(テクノストラクチャー工法)4棟



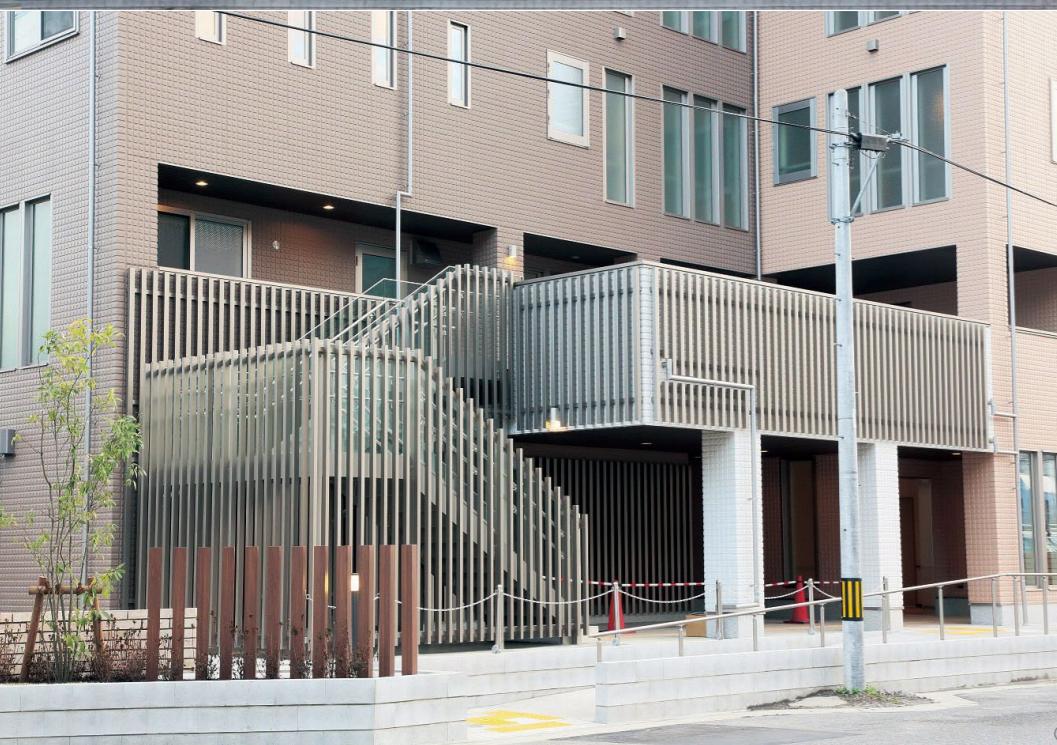
テクノストラクチャー工法で建設中の学生寮(B棟)



<テクノビーム>は強度があり、片持ち梁で2階廊下を支える



\* CG提供: 株式会社ナルド



①②コミュニティの醸成を図った「街カド広場」③「街カドテラス」④暖かい屋内空間の「みんなの広場」

## 只越復興住宅

TADAGOE RECONSTRUCTION RESIDENTIAL BUILDING

### ふれあい・交流の場を重視した 重量鉄骨の災害公営住宅

東日本大震災で甚大な被害を受けた釜石市で、提案型買い取り方式による只越復興住宅3号棟・4号棟が竣工した。これは、民間業者の提案を受け、設計・建設された建物などを釜石市が買い取る制度。先導的に復興公営住宅を建設することで、市民に対して安心で豊かな生活が営めることを示すとともに、市の施策であるフロントプロジェクトや近隣の復興公営住宅を含む地域コミュニティの活性化を目的としている。

只越3号棟は6階、4号棟は7階建ての集合住宅。

工業化住宅により工期短縮を図るとともに、耐力壁が不要という重量鉄骨ラーメン構造の特性を生かし、将来にわたって間取りを柔軟に変更できることが評価された。

施設が行政・商業再生・水産業再生ゾーンの交点にあることから、地元住民へのヒアリングによって施設を“ふれあい・交流の場”とすることを計画。建物外部に近隣の賑わいを呼び起こす「街カド広場」を配置。万一の災害のために、地域住民も利用できる防災倉庫も装備している。また、建物各階共用部には各住戸からアクセスできる「みんなの広場」を設け、住民相互が見守ることのできる空間が創り出されている。

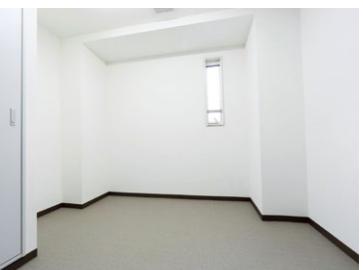


### 只越復興住宅

所在地／岩手県釜石市只越町  
発注者／岩手県釜石市  
事業主／パナホーム株式会社  
設計・施工／パナホーム株式会社  
竣工／2016年3月(3号棟)  
2016年8月(4号棟)  
構造／鉄骨造6階(3号棟:19戸)  
鉄骨造7階(4号棟:27戸)



「みんなの広場」に隣接した集会所



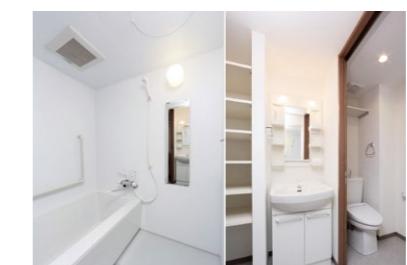
1階に設けられた防災倉庫



各戸に2方向通風と採光を供給する風のトンネル



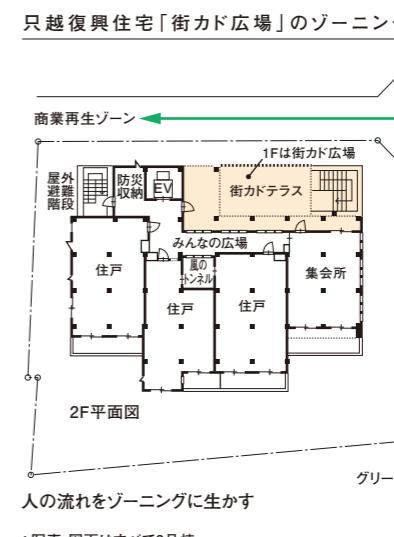
家事動線に配慮されたLDK



システムバスルーム(写真左)とドレッサー(右)



主寝室(和室)



### 主な設備

- 重量鉄鋼造「ビューノ」
- システムキッチン
- システムバスルーム
- ドレッサー
- LED照明器具
- 住宅分電盤
- 内装建材

\*写真・図面はすべて3号棟



上質な白を基調とした空間で湘南のリゾート感を演出

## シエリア湘南辻堂

CIELIA SHONAN TSUJIDO

### 地域と「つながる」まちづくりで スマートコミュニティを創造

横浜、東京へ直通アクセスが可能なJR「辻堂」駅前という立地のシエリア湘南辻堂。総開発面積約25,000m<sup>2</sup>のパナソニック辻堂工場跡地で、分譲住宅やコミュニティ施設、福祉・商業施設、公園などからなる複合的なまちづくりが進められている。オール電化を採用する中、先進の省エネ設備や太陽光発電、エネルギーの見える化で省エネを推進。高圧一括受電と合わせて、電力使用のピークカット・ピークシフトに対応する給湯機「エコキュート」を導入することにより電気料金の削減を図っている。システムキッチンの

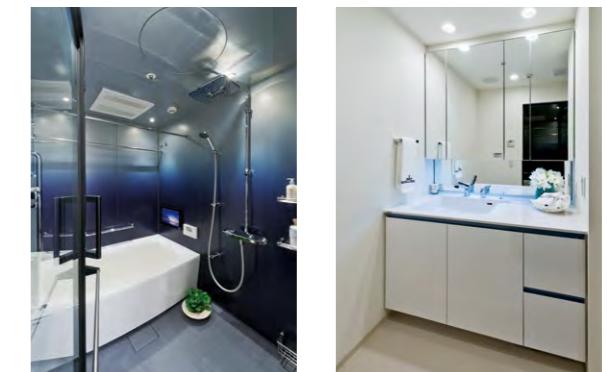
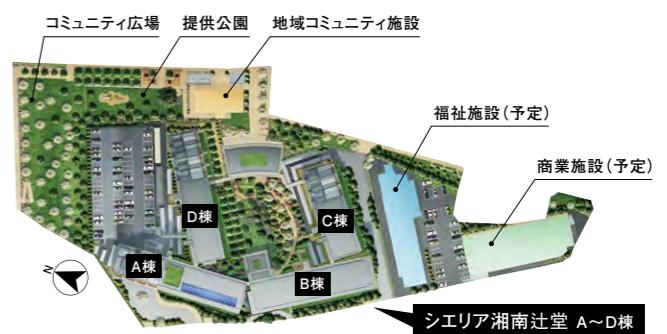
作業スペース拡大や洗面化粧台の収納スペース確保など、お客様の声を住宅設備に反映。100種類のアクセントクロスからセレクトできる「プラスインテリア」などオプションも多彩。「4棟352戸」という大規模物件であり、かつ工期の短縮が課題であったため、パナソニックES建設エンジニアリング株式会社に内装工事一式を依頼した。一元的な管理で、煩雑なオプション対応から工事や品質管理まで安心して任せられる」と語るのは関電不動産開発株式会社東京支社住宅事業部チーフリーダーの桜井 洋氏。地域と「つながる」まちづくりをめざして、近隣の住民も参画する新たなコミュニティが構築されている。

### シエリア湘南辻堂

所在地 / 神奈川県茅ヶ崎市赤松町  
事業主 / 関電不動産開発株式会社、野村不動産株式会社、バナホーム株式会社  
設計 / 株式会社IAO竹田設計  
施工 / 三井住友建設株式会社 横浜支店  
内装工事 / パナソニックES建設エンジニアリング株式会社  
構造 / 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上10階  
総戸数 / 352戸  
竣工 / 2018年1月末(予定)



作業スペースを広くとったシステムキッチン

Windeaに  
電気使用量を表示濃紺色のグラデーションを用いて  
バスルームをコーディネート  
(i-X INTEGRAL)※オプション化粧台の高さを上げて  
収納スペースを拡大高圧一括受電対応  
エコキュート

### 主な設備

- LS-i KITCHEN
- 食器洗い乾燥機
- マンションHA「Windea」
- i-X BATHROOM
- アラウーノ SII
- 高圧一括受電対応エコキュート
- i-X DRESSING
- トイレカウンター
- ネットワークカメラ
- ディスポーザー
- LED照明
- 太陽光発電システム HIT285W 20kW(共用部)

\* CG提供：関電不動産開発株式会社

フローリングや建具のカラーがセレクトできる30m<sup>2</sup>基準のリビング・ダイニング

## アーデントクレイル山の田本町

ARDENT CLAIRE YAMANOTAHONMACHI

### 水素社会の到来を見据え 家庭用燃料電池を集合住宅に導入

下関市中心市街地の山の田地区に位置するアーデントクレイル山の田本町。敷地面積約9,590m<sup>2</sup>のショッピングセンター跡地に、南館2棟、東館2棟の4棟138戸の分譲マンションを配置する中、ラウンジスペースや集会室などの共用コミュニティ施設を設け、「永く安心して快適に過ごせる住まい」を追求。太陽光発電や風の取り込み、緑化による遮熱など自然エネルギーを活用。断熱性能を高めつつ、各戸に先進の省エネ設備やECOマネシスムを採用することにより、低炭素住宅の認定を受けている。南館66

戸には、水素社会の到来を見据え、家庭用燃料電池「エネファーム」を導入。また、停電時への対応として、照明器具などの接続機器に自動給電を行う住宅用リチウムイオン蓄電盤を採用。さらに、照明スイッチにアドバンスシリーズリンクモデルを導入して、外出時などに玄関から複数の照明の一括オフを可能としている。東館72戸では、家庭用燃料電池のスペースを確保し、将来的な導入に対応。「パナソニック製品の良さは女性目線での使い心地とデザイン性。お客様が安心できる」と語るのは株式会社コムズコーポレーション専務取締役の中山 丈志氏。暮らし心地を追求した住まいづくりが徹底されている。



アーデントクレイル山の田本町

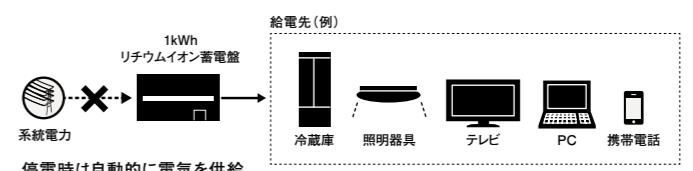
所在地／山口県下関市山の田本町  
事業主／株式会社コムズコーポレーション  
計画／株式会社ワイエム・クリエイト  
一級建築士事務所  
施工／株式会社野口工務店  
造／鉄筋コンクリート造 地上14階  
戸数／139戸(販売戸数138戸)  
竣工／2017年8月(予定)



家事動線に配慮された、明るいキッチンスペース

発泡ポリスチレン断熱材で  
保温特性を大幅向上手元と顔を明るく照らす  
ツインラインLED照明

## 停電時の電気の流れ



## 主な設備

- LS-i KITCHEN
- i-X BATHROOM
- i-X DRESSING
- アラウーノ SII(南館)
- 家庭用燃料電池「エネファーム」(南館)
- 住宅用リチウムイオン蓄電盤 1kWh(南館)
- ECOマネシスム
- アドバンスシリーズリンクモデル(南館)

\*画像提供：株式会社コムズコーポレーション



調光・調色が可能なペンダントライトをダイニングに設置し、適所適光の照明計画を提案している。写真はディナーのシーン

### シンフォニーライティングを積極的に提案した集合住宅

中心部の都市機能が集中しながらも、高密度な都市居住を推進する広島市の「都心コア住居地区」に建設が進む分譲マンション「ザ・ロイヤル小町」。創立50周年を迎えた東亜地所株式会社では、マンションでのより快適な住空間づくりの手法として「シンフォニーライティング」の活用をマンション購入者に提案。「暮らし心地や居住者の心理にも大きな影響を与え、インテリアや空間にも表情を醸し出す照明計画は、実は大変重要」と語るのは、マンション事業部の岡本秀和氏。「専有面積に制限があり、戸建に比べ

て空間に広がりを感じにくいマンションでは、効果的な照明計画を提案することで、広がりや住空間の雰囲気に差が生まれます。特にさまざまなシーンが想定されるLDや、くつろぎ感を醸し出したい主寝室の効果的な照明計画の実例をモデルルームで提案し、お客様それぞれに照明計画と検討いただくライティングオプションは大変好評です」と岡本氏。

「ザ・ロイヤル小町」では、プレミアムフロア(12～14階)の各住戸に、「シンフォニーライティング」と、フラットパネルLEDが採用されたユニットバス「i-X INTEGRAL」を標準装備。よりラグジュアリーな住空間が提案されている。

## ザ・ロイヤル小町

THE ROYAL KOMACHI



### ザ・ロイヤル小町

所在地 / 広島県広島市中区小町  
事業主 / 東亜地所株式会社  
設計・監理 / 株式会社アートライフ  
施工 / 三栄建設株式会社  
造り / 鉄筋コンクリート造 地上14階建(39戸)  
工 / 2017年6月(予定)



平和大通りに至近の立地に、開放的なリビングスペースを確保

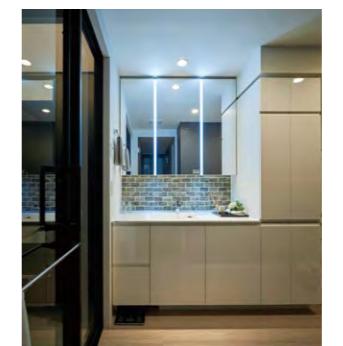


くつろぎや落ち着きの時間を想定した  
<だんらんのあかり>

DVD鑑賞などを想定したシアターのあかり



早朝や黄昏の自然光がバスルームに差し込むようなi-X INTEGRALのフラットパネルLED



ツインラインLEDを採用したドレッサー

### 主な設備

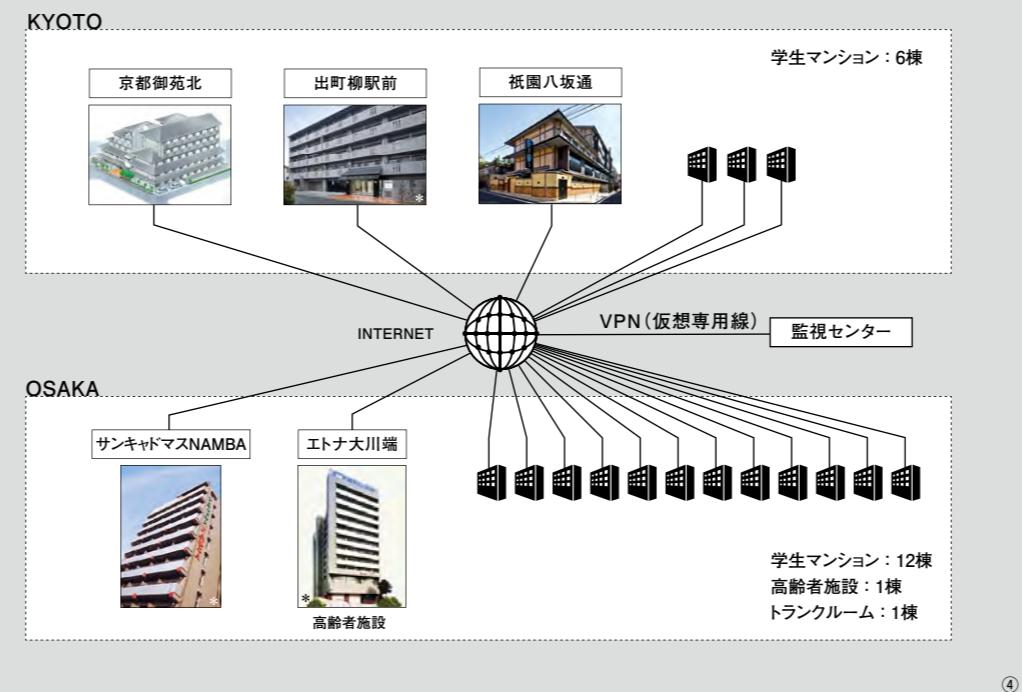
- LED照明器具
- リビングライコン
- エコキュート
- 内装建材(MS-V)
- i-X INTEGRAL
- i-X DRESSING
- LS-i KITCHEN
- IHクッキングヒーター
- バス換気乾燥機

\*画像提供: 東亜地所株式会社



## LA・CREA 京都御苑北

所在地 / 京都府京都市上京区桜木町  
事業主 / 司興産株式会社  
設計 / 株式会社キヤドマス建築工房  
工事 / パナソニックES建設エンジニアリング株式会社  
施工 / 鉄筋コンクリート造 地上5階  
戸数 / 70室  
竣工 / 2017年2月(予定)



①エアコンを標準装備(LA・CREAシリーズ仕様) ②躯体工事も請け負うことで、工事全体を一元管理  
③④24時間体制で大阪、京都一円の学生専用マンションを一括集中監視

## LA・CREA 京都御苑北

LA・CREA KYOTO GOYOEN KITA

躯体工事から設備導入まで  
一元管理により施工効率化

大学の郊外から市内へのキャンパス再配置で学生向け賃貸住宅需要が高まる京都市。同志社大学今出川キャンパスに近接した位置に2017年2月に竣工するLA・CREA京都御苑北は、地上5階建70室の学生専用マンション。高さを15m以下に抑えつつ、各階のひさしや大屋根を特定勾配の瓦屋根とすることで京都市景観条例に対応。コンパクトなシステムキッチンやユニットバス、洗面化粧台の採用により、居室のスペースが確保されている。

「住宅設備や映像監視システムの採用で信頼

関係を構築したパナソニックES建設エンジニアリング株式会社に、建築工事一式を依頼した」と語るのは、司興産株式会社代表取締役の森岡政司氏。躯体工事をはじめ、内装工事から電気設備の導入まで、工事全体の一元管理により管理を効率化。工程間の緊密な連携などで、品質や工期の確保を図っている。

また、共用部やエレベーター、廊下に、パン機構付やドーム型など監視カメラ20台を設置。大阪市北区に設けられた監視センターにより、24時間の遠隔監視が行われる。監視システムに加え、住み込みの管理人による支援などもあり、京都では、ほぼ100%入居率を実現している。



LA・CREA京都御苑北完成予想図

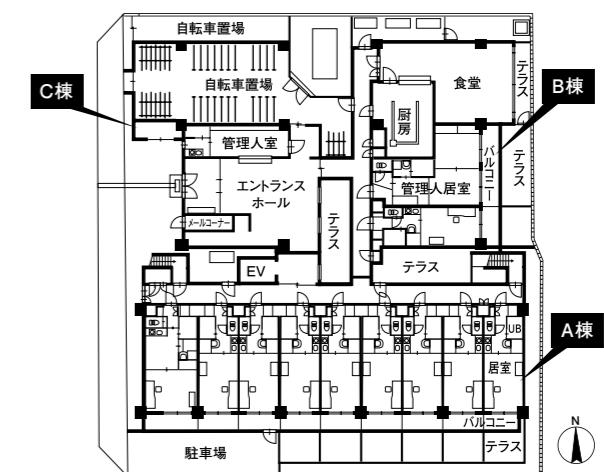


システムキッチン(LA・CREAシリーズ仕様)



バスルーム(LA・CREAシリーズ仕様)

京都御苑北1階平面図



- 主な設備
- システムキッチン
  - ユニットバス
  - 洗面化粧台
  - エアコン
  - 監視カメラ

\* 画像提供: 司興産株式会社

## 成田国際空港 第2旅客ターミナル



### 海外から降り立つ人を迎える光のゲートウェイ

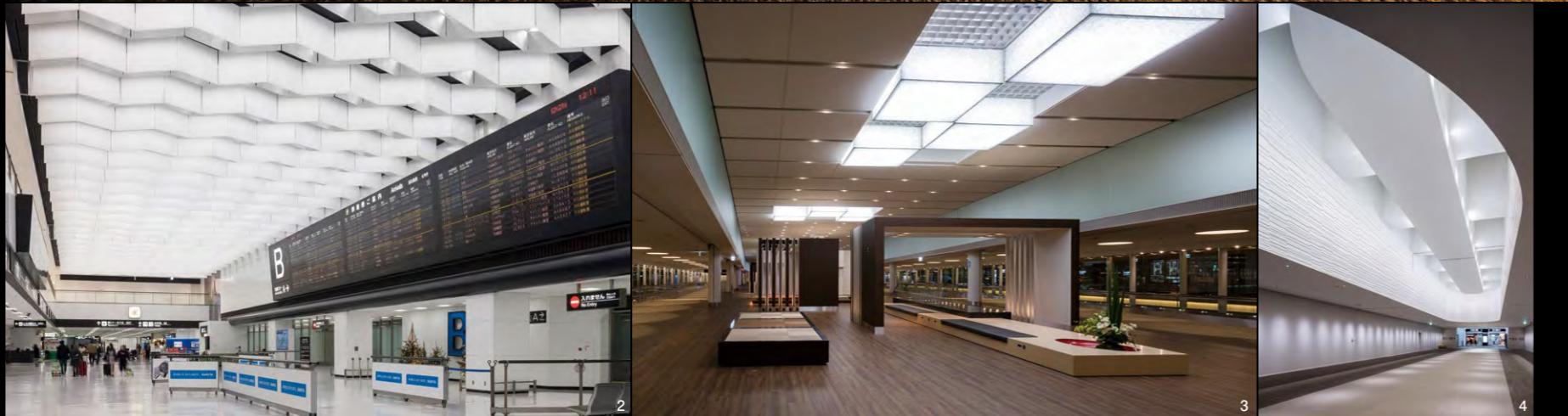
日本の玄関口である成田国際空港。第2旅客ターミナルビルとサテライトを繋いでいたシャトルが廃止され、約220mの連絡通路には出発旅客のためのカフェやラウンジなどの機能が追加された。連絡通路は内側を出発コンコースとし、それを挟むように両外側に到着コンコースを配置。ここでは、視線を遮る柱のない220mにわたる眺望が提供されている。

到着コンコースに求められたのは、長大なガラスに映り込むことのない照明設計。照明器具を低い位置に設置し、光源が見えないように腰壁とLED器具を一体化したうえで適切な設置角度を算出。さらに、床面への配光を広げるために腰壁のR形状を反射板として活用し、光の反射を検証することで、映り込みのない配光を実現。建築と一緒にになった照明環境が創り出されている。

到着ロビーでは天井のリノベーションが行われ、吹き抜け部天井は幕材を配置して約1,300台のLED照明で柔らかく照射。器具が目立たないように幕材と一緒にした配置計画により、日本の玄関にふさわしい「和の抽象美」を彷彿とさせる。

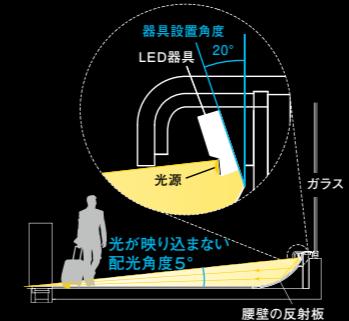
出発コンコースは既設トップライトを残したアール形状の掘上天井。昼は外光を活用し、夜間はトップライト中央部側面に組み込んだ照明器具によりレリーフ壁を照射。レリーフの陰影を演出しながら、明るさ感の高いダイナミックな空間が創り出された。

なお、当該施設は2016年北米照明学会賞の入選物件の中で、上位賞にあたる特別賞「Special Citation」を受賞している。



到着コンコース断面

ガラスに光が映り込まない  
最適なLED器具の設置角度



1. 映り込みを避けるために間接照明が低い位置に設けられた到着コンコース
2. 幕を照らしながら器具を目立たせない工夫が凝らされた到着ロビー
3. トップライトや光天井により和の空間を感じさせるラウンジスペース
4. 中央部側面の特注照明でレリーフ壁を演出している出発コンコース

# 旧青木家那須別邸

Former Aoki house Nasu villa

那須野が原の大農場に建てられたドイツ翁の邸宅

栃木県那須塩原市の旧青木家那須別邸は、明治期にドイツ公使などを歴任した子爵・青木周蔵の邸宅。原野だった那須野が原を開拓し、大農場を経営した青木がドイツ派の建築家・松ヶ崎萬長の設計で明治21(1888)年に創建。大規模な増築を経て現在の姿となった。国指定重要文化財。



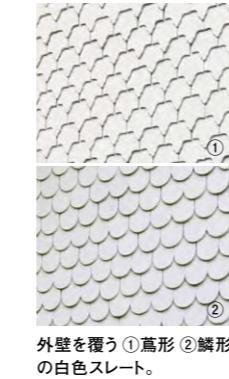
旧青木家那須別邸は日本における木造西洋風別荘の先駆的存在とされる。青木周蔵はドイツ滞在が長く、設計者の松ヶ崎萬長ともドイツで出会った。



マンサード風屋根やドーマー窓が西洋建築独特的外観を形成している。付属棟2階の妻壁と窓飾りを一体化した窓にも松ヶ崎がドイツで習得した技術が生かされている。



①懸魚のような3枚の飾り板 ②欄間を思わせるベランダ軒下の装飾。いずれも日本の意匠を取り入れたものといわれる。



外壁を覆う ①幕板 ②鱗形の白色スレートの白色スレート。



創建当初に造られた大食堂。青木は農場で頻繁に鹿狩りを楽しみ、ここで食事と団らんの時を過ごした。当時は北側に広がる庭園が窓越しに眺められた。



増築された西翼棟の夫人室。凝った意匠の化粧柱がある。



付属棟2階の畳部屋。窓のデザインを生かすために天井の形が工夫されている。



①



②

2階①ベランダ②階段。手すりの意匠は青木の蔵書に原型と思われるものがある。青木も建築に関心があった。



中央棟1階の輻組。多くの筋交いを入れて補強しているのが分かる。



豪社な骨組みの中央棟小屋裏。腰壁は広い空間を生みだしたが、構造上の必要性からではなくドイツ風意匠を取り入れるために採用されたという。

明治前期、那須野が原では政府の殖産興業政策を背景に元勲や旧藩主が開拓と農場経営に進出した。ドイツ公使を長く務め、「ドイツ翁」と呼ばれた青木周蔵もその一人で、ドイツの貴族地主に憧れ林間農場を経営。ドイツで建築を学び、技術を日本に伝えた松ヶ崎萬長の設計で木造の西洋風別荘を農場内に建設した。

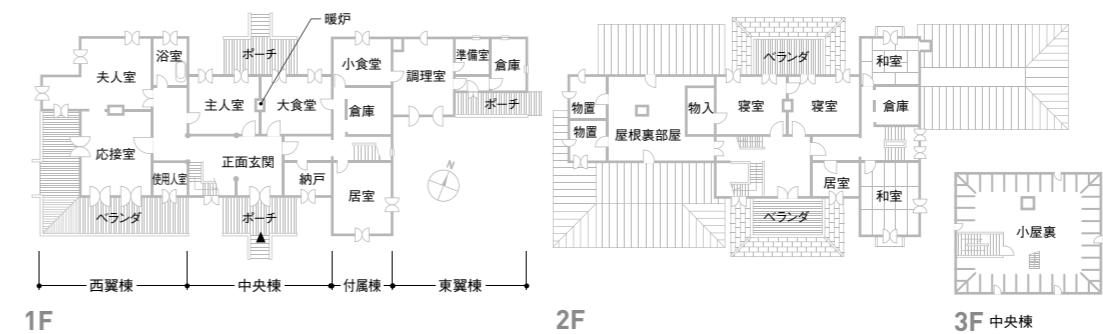
創建時は中央2階建て(中央棟)のみであった。簾や鱗形の白色スレートをまとった外観が那須の緑に映えて美しい。マンサード(腰折れ屋根)風の屋根は上部を急勾配にした変則

的な形状。頂部の物見台や、懸魚のような飾りを付けたドーマー窓も松ヶ崎が好んだスタイルという。架構法には半小屋裏と呼ばれる、ドイツで多用される小屋組を採用。腰壁を約1m立ち上げ、その上に小屋組を載せることで小屋裏を広く、利用しやすくしている。また、筋交いなどの斜め材を多用した堅牢な軸組もヨーロッパの伝統的な工法である。

中央棟右の棟(付属棟)2階には、ハンマービームトラスをモチーフとする窓があるが、これもヨーロッパの木造建築において屋根やひさしを支える工法として知られている。

付属棟および東、西の平屋は明治42(1909)年竣工の増築時に追加され、青木やドイツ人の妻・エリザベトが起居する本邸の機能を備えるようになった。2階には畳部屋も造られたが、畳に座るのは苦痛と論文に書き残しており、青木用ではなかったと推測されている。内装は板張りにベンキ塗りまたは、クロス張りのシンプルな造りで、天井の化粧梁や化粧柱の西洋風デザインが目を引いている。この別邸は那須野が原で農場経営をした華族の暮らしを伝えるものとして、また、松ヶ崎の日本に残る唯一の作品として貴重である。

明治42年の間取り図



用語説明

【青木周蔵】明治期にドイツ公使・外務大臣・アメリカ大使などを歴任。

【松ヶ崎萬長】明治期にドイツ式建築を導入、日本建築学会創設者の一人。

【ドーマー窓】屋根から突き出でて設けられた採光用の窓。

【ハンマービームトラス】左右の小梁を持ち送りで支え、小梁でアーチを支えてトラスを構成したもの。

**エンジニアリング総合センター(EC)／  
ESデザインセンター／テクニカルセンター(TC)**

**北海道地区** ☎060-0809 札幌市北区北9条西2丁目1番地  
北海道EC／TC ..... (011)747-0617

**東北地区** ☎980-0014 仙台市青葉区本町2丁目4番6号  
仙台本町三井ビルディング4F  
東北EC／TC ..... (022)261-2318

**首都圏** ☎105-8301 東京都港区東新橋1丁目5番1号  
首都圏照明EC ..... (03)6218-1499  
東京照明EC ..... (03)6218-1010  
ソリューションライティングデザイン部(東部)  
..... (03)6218-1020  
東京商業照明EC ..... (03)6218-1544  
東部テクニカル営業推進部 ..... (03)6218-1050

**中部地区** ☎450-8611 名古屋市中村区名駅南2丁目7番55号  
名古屋照明EC ..... (052)586-1802  
名古屋商業照明EC ..... (052)586-1061  
中部テクニカル営業推進部 ..... (052)586-0581

**近畿地区** ☎540-6218 大阪市中央区城見2丁目1番61号  
OBPパナソニックタワー18F  
大阪照明EC ..... (06)6945-7809  
ソリューションライティングデザイン部(西部)  
..... (06)6945-7809  
☎540-6213 大阪市中央区城見2丁目1番61号  
OBPパナソニックタワー13F  
近畿照明EC ..... (06)6943-1630  
☎540-6217 大阪市中央区城見2丁目1番61号  
OBPパナソニックタワー17F  
大阪商業照明EC ..... (06)6945-7805  
☎540-6218 大阪市中央区城見2丁目1番61号  
OBPパナソニックタワー18F  
西部テクニカル営業推進部 ..... (06)6945-7813

**中国・四国地区** ☎730-8577 広島市中区中町7番1号  
中国EC／TC ..... (082)249-6148

**九州地区** ☎810-8530 福岡市中央区薬院3丁目1番24号  
九州EC／TC ..... (092)521-1501

**パナソニックのソリューション**  
<http://www2.panasonic.biz/es/solution/>

**パナソニック リビング ショウルーム**

**札幌** ☎060-0809 札幌市北区北9条西2丁目1番地  
(011)727-5066

開館時間／10:00～17:00  
休館日／水曜日(祝日の場合は開館)・お盆・年末年始

**仙台** ☎980-0014 仙台市青葉区本町2丁目4番6号  
仙台本町三井ビルディング  
(022)225-4357

開館時間／10:00～17:00  
休館日／水曜日(祝日の場合は開館)・お盆・年末年始

**東京** ☎105-8301 東京都港区東新橋1丁目5番1号  
(03)6218-0010  
(汐留)

開館時間／10:00～17:00  
休館日／水曜日(祝日の場合は開館)・お盆・年末年始

**横浜** ☎221-0056 横浜市神奈川区金港町2番6 横浜プラザビル  
(045)453-0981

開館時間／10:00～17:00  
休館日／水曜日(祝日の場合は開館)・お盆・年末年始

**名古屋** ☎450-8611 名古屋市中村区名駅南2丁目7番55号  
(052)583-8281

開館時間／10:00～17:00  
休館日／水曜日(祝日の場合は開館)・お盆・年末年始

**広島** ☎730-8577 広島市中区中町7番1号  
(082)247-5766

開館時間／10:00～17:00  
休館日／水曜日(祝日の場合は開館)・お盆・年末年始

**福岡** ☎810-8530 福岡市中央区薬院3丁目1番24号  
(092)521-7993

開館時間／10:00～17:00  
休館日／水曜日(祝日の場合は開館)・お盆・年末年始

**コーポレートショウルーム パナソニックセンター**

**東京** ☎135-0063 東京都江東区有明3丁目5番1号  
(03)3599-2600

開館時間／10:00～18:00(リスピアの最終入場は17時まで)  
休館日／月曜日、年末年始

**大阪** ☎530-0011 大阪市北区大深町4番20号  
グランフロント大阪 南館(2F～B1)

(06)6377-1700  
開館時間／10:00～20:00  
休館日／不定休(但し、地下1階リビングフロアは  
水曜日(祝日の場合は開館)・お盆・年末年始)

**Facebook**

パナソニックの住まい・くらし方情報「すむすむ」  
<https://www.facebook.com/Panasonic.sumai>

